

7 まちづくりアンケート調査の実施

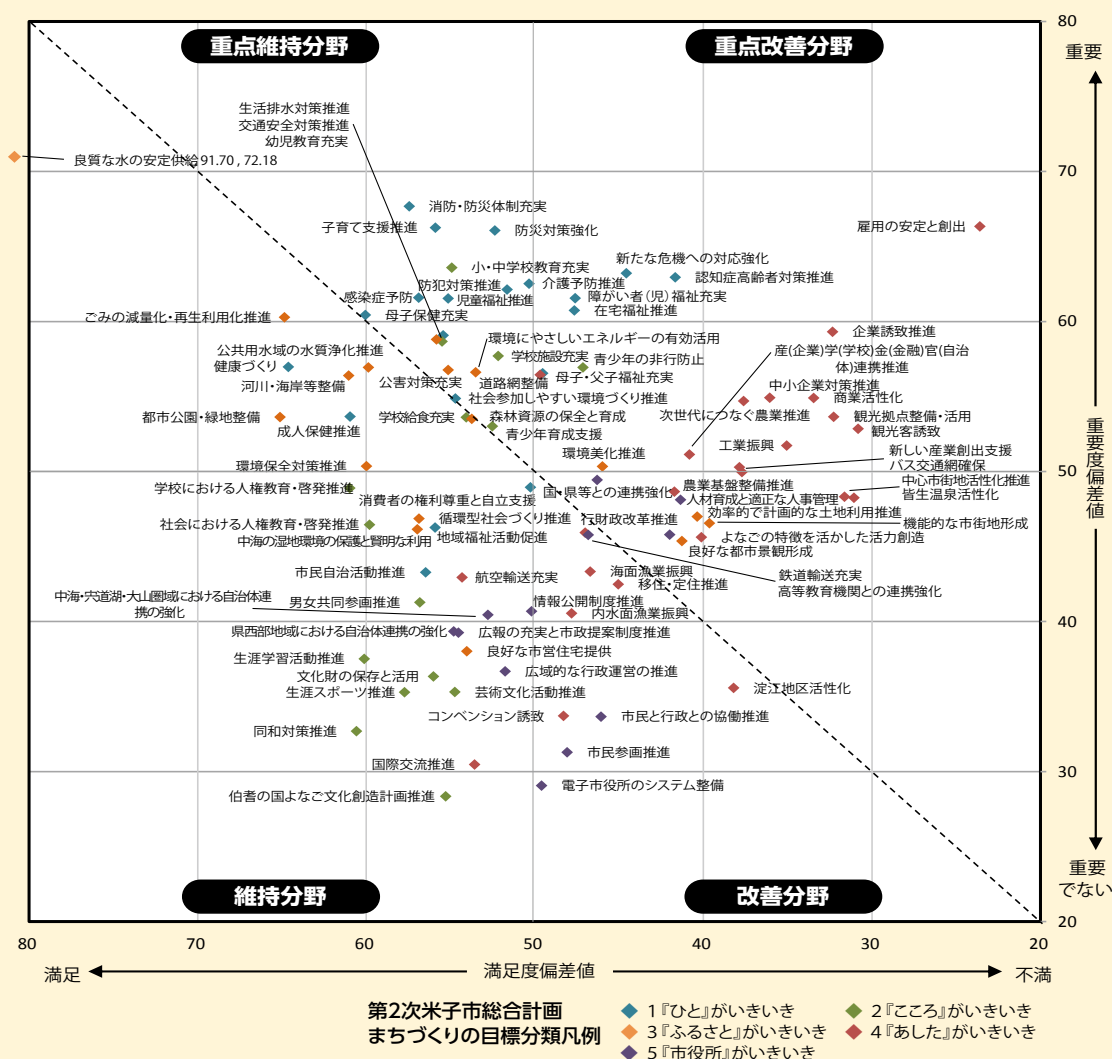
(1) 市民アンケート調査結果

平成25（2013）年5月から6月に、市民アンケートを実施（16歳以上の市民3,000人（無作為抽出）、有効回収数1,050件、有効回収率35.2%）し、第2次米子市総合計画に掲げる施策について、市民のみなさんが日常生活を通して感じる満足度や今後のまちづくりの重要度の調査結果から、市民のニーズを分析しました。

【重要政策課題（重点改善分野）】（改善ニーズの高い上位5項目）

- 雇用の安定と創出
- 企業誘致の推進
- 認知症高齢者対策の推進
- 商業の活性化
- 観光客の誘致

施策別の満足度・重要度の分布

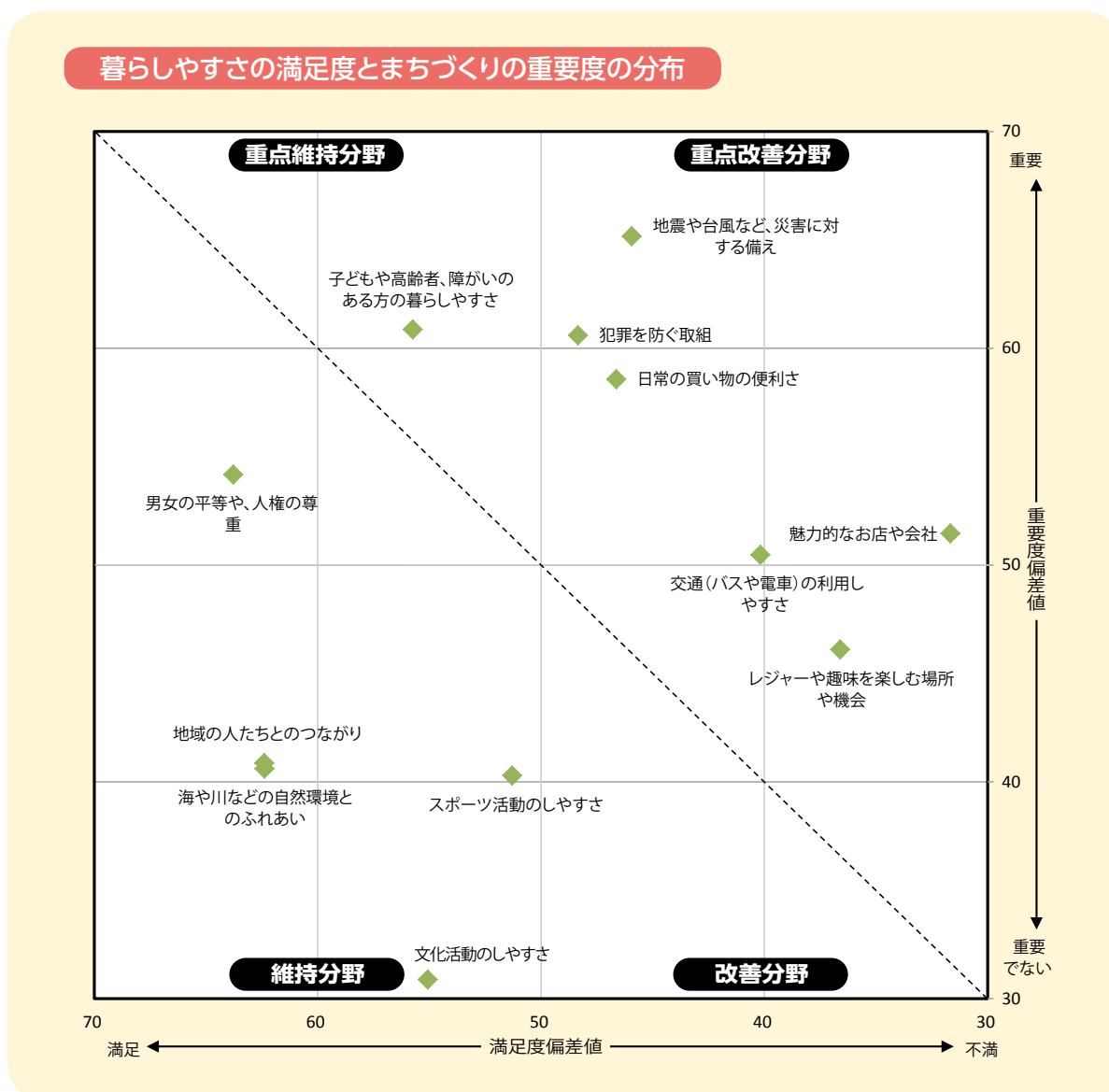


(2) 中学生アンケート調査結果

次世代を担う中学生の目を通して見た米子市の現状や課題等を把握するため、平成26（2014）年9月に、中学生アンケート（市内13中学校に通学する中学3年生、うち1校は2年生）を実施（回収数1,391件、回収率93.0%）し、中学生が日常生活を通して感じる米子市での暮らしやすさの満足度と今後のまちづくりの重要度の調査結果から、中学生のニーズを分析しました。

【暮らしやすさの課題（重点改善分野）】（ニーズの高い上位5項目）

- 地震や台風など、災害に対する備え
- 魅力的なお店や会社
- 日常の買い物の便利さ
- 犯罪を防ぐ取組
- 交通（バスや電車）の利用しやすさ



8 まちづくりワークショップの実施

平成26（2014）年8月から9月に、まちづくりワークショップ「よなご未来カフェ」を実施し、「10年後の米子市が、住みやすく元気なまちであるために、必要なことは？」を共通テーマに、まちづくりの分野・テーマごとに意見交換を行い、まちづくりの方向性について提言をいただきました。

参加者からいただいた主な提言は、次のとおりです。

健康（保健・医療） 福祉

防災 市民自治活動

- 生涯健康で暮らせる地域社会づくり
- 子どもが健康に成長できる環境の整備
- 長期的視点に立った福祉施策
- 地域福祉活動の充実
- 子育て支援メニューの充実
- 障がい者に配慮したまちづくり
- 地域の防災力強化
- 災害時の要支援者への取組の充実
- 災害発生時の具体的行動の啓発
- 自治会活動やまちづくりへの参加意識の醸成と活動リーダーの育成

教育 文化 スポーツ 人権

- 人権教育や啓発機会の拡充
- 人権を尊重したまちづくりへの理解
- 文化活動の発表機会と場づくり
- 市民文化共有のしくみづくり
- 伝統文化を学ぶ機会の拡充
- スポーツ設備の充実
- 優れたスポーツ指導者の確保と育成
- 身近でスポーツに親しめる環境づくり
- ふるさとに誇りをもつ郷土教育の充実
- キャリア教育の充実
- 自然環境をいかした教育プログラム
- 世代間交流による教育の拡充
- 女性が活躍できる地域社会づくり
- 正しい性差の認識に基づく人材活用
- 地域や職場での男女共同参画推進

農林水産業・商・工業 企業誘致

雇用 観光 交通体系 交流連携

- 地域で連携した6次産業化の促進
- 消費者と生産者の交流連携
- 子どもの食農教育
- 休耕田対策と担い手対策
- 体験価値（モノでなくコト）の製品化
- 個性ある商店街の振興とにぎわいづくり
- 米子独自の産業分野の開発
- 若者、女性、Uターン者の意見を取り入れた起業環境づくり
- 観光リピーター創出対策
- 自然体験型プログラムやテーマ性のある着地型観光の充実
- 広域的なインバウンド対策

景観・緑地整備 上下水道

ごみ対策・省資源 環境保全

- 市民の利用ニーズに合った公園活用
- エリアやランドマークを意識した景観形成
- 米子駅南北をつなぐ通路整備
- おいしい水道水とその活用
- 親水空間の整備
- 水辺のスポーツ振興
- リサイクルと分別意識の醸成
- 幼児期からの環境保全啓発
- 希少な自然環境や生態系の保全と活用
- 良好な大山の伏流水の保全